

## ニュースから考える

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいいたします。



今年を「漢字一文字で表す」と？・・という企画が良くあります。突然国民的スターとなりオリッピク

の最有力候補に躍り出た渋野日向子選手は、昨年の活躍を「謎」と表現し、2020年は「進」をテーマに掲げています。今年も楽しみです。

一方、就活に際し「自分を漢字一字で表すと？」という質問があるようです。客観的に自分自身を理解できているかを採用担当者が確認するため

のものです。とはいえ・・ひと様の見た目や欠点は気になりますが・・「自分」を正しく評価する事は簡単ではありません。

参考までに「耐」、「楽」、「馴」、「信」、「適」が良い評価のようです。つらい仕事に「耐」、前向きな気持ちで「楽」しんで、長時間労働に「馴」、れ、人から「信」頼されつつ、会社の目標を「適」格に理解・行動する社員・・言うのは簡単というひとつの例です。

とは言え・・新年を前向きにスタートするために漢字一文字で表現する事は良い方法かも知れません。是非、思い浮かべてみましょう。

## 1分でわかる業務カイゼン

鉄板ネタ・・



皆さん・・「こち亀」をご存じですか？1976年から40年間連載された国民的な超人気漫画です。

いよいよ今年には待ちに待った東京オリンピックイヤーです。こち亀に「夏季オリンピック」、つまり4年に1度目覚めて主人公の両津勘吉を振り回すという「鉄板ネタ」があります。漫画に限らず過去の経験に基づく「鉄板ネタ」は皆さんの会社にもあるでしょう・・。

当事務所通信も今回で119回となり・・創刊当時は10件ほどスタートしましたが新しいお客様の沢山増えました。そこで、私なりに皆様に伝えたい「鉄板ネタ」を数年ぶりにご紹介します。

お客様が何を求めているか・・

今年は雪が少ない一方、寒い日が続きます。そんな真冬に「マッチ売り」の少女がいたら・・という話です・・。

零下の中、年末の駅前で少女がマッチを売っていました。「マッチはいかがですか～」とか細い声で叫んでも誰も足を止めてくれません。今の時代マッチを買いたいと思う人がいないのは当然です。しかし、彼女は厳選した「良い」マッチを仕入、「一生懸命頑張って」売っているのです。とは言え・・彼女の努力は評価されません。そのような事は皆さんも経験がある



と思います。このケースでは売りたいものと買いたいものが「マッチ」していない状態です。

彼女は作戦を考えました、自分が如何に困っているかを看板で表現したのです。するとどうでしょう・・「感心な子だね～頑張って！」

などと彼女を励ます人ばかりができました。そうです・マッパを買った人は「不幸な少女を助けてあげた優しい自分」という満足を手に入れたのです。



ロレックスという時計があります。どうやら時間を確認する機能とは別に自分は選ばれし人だと PR できるオプションもついているようです。デザインや機能もさることながらお金に余裕のある人はそれを手に入れることを目標とします。

極端な例を紹介しましたが・発想の転換で皆さんが売っている商品(サービス)に何らかの価格以上の価値を見出してください。

自分は何を持っているか・

「お客様が何を求めているか」が重要なように、「自分自身が何を持っているか」を理解することは商売を継続させるうえで大切な要素です。

1千万以上の高級車を乗り回し、ゴルフ・ススキノ三昧で夢は大きく「上場企業の経営」と語っていた経営者がいました。税務調査をきっかけに契約は解除となりました。残念ながら彼の大きな夢はかなわず自己破産となったようです。



新規契約先との打ち合わせの際にする話です。私たちは「成功の方程式は知りませんが失敗の方程式は経験上知っています」。夢のような甘い話は出来ません。ネガティブだと思わず失敗させないために話している事をご理解ください。

一生懸命頑張る事は他社も同様にやっています。その中で一歩先行くためには多少の背伸びも必要ですが身の丈を知ることも大切です。「お客様が何を求めているか」を考え続け「自分(会社)が持っている」長所を伸ばす、そのような一年を目指しましょう。

## 事務所からのお知らせ

会社の健康診断として経営分析を行っていますので担当者にお尋ね下さい。また、お知り合いの経営者でお悩みの方がおられましたらお気軽にご相談ください。

今月の経営のヒント : 協力者は増えていますか(人が離れていませんか)?



## 今月のことば

お金は不思議なものだ。

持っていない人は持つことを熱望し、

また持っている人はそのせいで多くのトラブルに見舞われる。

(アイルトン・セナ F1ドライバー)

編集後記:

当事務所はまだ創業 10 年程度のため若い経営者がほとんどです。しかし、廃業した税理士から預かった創業から数十年以上経過した会社の解散が昨年数件ありました。解散時に借金もなく、退職金も支払う事が出来、失敗しなかったからこそ無事に解散できたとも言えます。倒産と解散、響きは似ていますがその性格は全然違います。今いる経営者に失敗をさせない事が当事務所のミッションだと考え、今年一年皆さまを応援したいと思います。そのためには黒字決算が最低条件です。

当事務所のお客様の最近の黒字決算割合 (TKC が証明するデータを使用しています)

最近 1 年間 : 66.7%

(国税局の発表によると法人の黒字割合は 33.2% (28 年 4 月 ~ 29 年 3 月) です)